

目次

凡例

目次

序

第一章 帰本願

第一節 親鸞という仏者の立場 — 自力無効 —

第二節 学仏道の転換

第三節 師教との値遇

第一項 真実教の決定

第二項 『大経』発起序

第四節 本願成就文

第一項 第十一願 必至滅度の願成就文

第二項 第十七願 諸仏称名の願成就文

(イ) 諸仏称名の願

(ロ) 大行

第三項 第十八願 至心信樂の願成就文

2 3 7 11 11 14 17 17 17 19 23 23 29 29 33 37

## 第二章 三一問答

第一節 三一問答の意義	54
第二節 至心積	56
第一項 一切の群生海	56
第二項 至徳の尊号	62
第三節 信樂積	65
第一項 信樂の範疇	65
第二項 否定の論理	68
第三項 如来の大悲心	70
第四項 自己の内奥に見出す法蔵の願作仏心	75
第五項 大涅槃の先驗	78
第六項 仏からの原理	81
第七項 本願信心の願成就の文	82
第四節 欲生積	84
第一項 招喚の勅命	84
第二項 回向為首得成就大悲心	88
第三項 宗教心としての欲生心	91
第四項 本願の欲生心成就の文	94
第五節 願生浄土	98
第一項 法蔵魂を生きる	98

第二項	唯除の意義	100
第三項	浄土の功德の自証	102
(イ)	妙声功德	103
(ロ)	主功德	105
(ハ)	眷属功德	106
(ニ)	清浄功德	108
<b>第三章 三願転入</b>		
第一節	三願転入の意義	122
第二節	第十九願 至心発願の願	126
第一項	道樹講堂	126
第二項	疑惑を生ぜず	131
第三節	第二十願 至心回向の願	134
第一項	第二十二願 還相回向の願	134
第二項	教化者意識	138
第三項	群萌の大地	140
第四項	動的にはたらく師教	144
第五項	三毒五悪の生活	146
第六項	果遂の誓い	150

結

159

参考文献

161